

新規液体増量剤を利用した 果樹の省力的人工受粉技術の確立

研究の背景

1花1花、手作業により花粉を着けていくため、大変な労力が必要。
しかも、開花期間中に作業を終えなければならず、労力の確保が困難。



受粉を必要とする多くの果樹では、**人工受粉の省力化・軽労化**が急務



技術シーズ

キウイフルーツの溶液受粉を可能とする**新規液体増量剤の開発**

研究 内容

溶液受粉

受粉は花粉を懸濁させた溶液を散布するだけ！

溶液受粉用
散布装置の
開発



溶液中における
花粉の生理反応
の解明

受粉効率の高い
液体増量剤の開発

人工受粉の省力化が重要なりんご、日本なし、もも及びかきを対象に
・液体増量剤、散布装置の評価(問題点、改善点の抽出)
・溶液受粉用花粉の効率的採取技術の開発

達成目標

主要果樹における溶液受粉技術の実用化

波及効果

人工受粉に要する労力及びコストの大幅削減
人工受粉の徹底による高品質果実の安定生産